

第23回 総合防犯設備士資格認定試験問題

B問題解答例



公益社団法人 日本防犯設備協会

選択する場合は右空欄に ○印を付ける。	
------------------------	--

B 問題-1（機器関連）

解答例

防犯カメラシステムについて、問1)から問3)までの三つの問い合わせに解答せよ。

問 1 防犯カメラを設置するにあたって、その場所における撮影目的ごとに画角を変える必要がある。
VGA画像の防犯カメラにおける各画角の撮影目的と映り込む人物のサイズ、商業施設における
主な設置場所を記入例にならって記せ。

【解答欄】

画 角	サ イ ズ	目 的	主な設置場所
画角 A	人物の全身が画面のほぼ1／2の高さに映る大きさ	行動把握	店舗内
画角A25	人物の全身が画面のほぼ1／4の高さに映る大きさ	全体把握	駐車場内 など
画角B	人物の全身が画面全体に映る大きさ	人物の特定	出入口
画角C	人物の胸部から上が画面全体を占める大きさ	人相の認識	レジ周り など

問 2 防犯カメラのAHDカメラシステム方式(同軸アナログHD方式)とNTSC方式(アナログカメラ方式)とを比較して、AHDカメラシステムの特徴を記せ。

【解答欄】

特 徴	
①	200万画素以上のフルハイビジョン映像が取り扱える。
②	既存のNTSC方式の配線を利用して、カメラとレコーダーを交換すればフルHD化ができる。
③	既存のNTSC方式のカメラをAHDレコーダーに接続することができるものが多い。
④	公的な規格でないためメーカー間の互換性は保証されていない。

問 3 防犯カメラで撮影された個人が特定できる画像情報は、個人情報保護上の「個人情報」に該当する。防犯カメラの設置及び運用管理における個人情報の取り扱いについて、注意しなければならない点を記せ。

【解答欄】

①	防犯カメラにより撮影した映像の利用は、防犯目的に特定し、その目的達成に必要な範囲に限定すること。
②	〈設置〉 撮影されている個人に対して、自身の個人情報が取得されていることを認識させるための措置を講ずることが望ましいため、敷地内や施設出入口などの目立つ場所に撮影の告知などを行うこと。
③	〈運用管理〉 記録された映像が目的以外に利用されないように、管理責任者や管理体制、記録映像の管理、映像の再生や閲覧、記録映像の提出などについて、運用規則を定めておくこと。

選択する場合は右空欄に ○印を付ける。	
------------------------	--

B 問題-2（施工関連）

解答例

出入管理設備の施工にあたり、カードリーダーやバイオメトリクス認証装置など、認識装置の設置上の注意点を四つ記せ。

【解答欄】

	認識装置の設置上の注意点
①	<p>カードリーダーやバイオメトリクス認証装置を設置する場合は、設置位置に注意する。</p> <p>カードリーダー、指紋、静脈などの接触型バイオメトリクス認証装置の認識部の設置高さは、(1.3m標準であるが、)使用者の身長によって異なるため、関係者と協議して決定する。</p> <p>顔や虹彩などの非接触型バイオメトリクス認証装置は、設置位置の高さ、距離、角度などが認識率に影響するため、機器の仕様書や取扱説明書などに従い設置する。</p>
②	<p>指紋認証装置および静脈認証装置の読み取り部ならびに顔および虹彩の撮影用のカメラ部に太陽、ハロゲン照明、白熱灯などの光が強く差し込む場所への設置は、登録や認証ができないことがあるため避ける。</p>
③	<p>接触型バイオメトリクス認証装置は、静電気が帯電すると機器に悪影響を与えるおそれがあるため、接地には十分注意する。</p>
④	<p>非接触型カードリーダーの設置にあたっては、近辺に鉄材などがある所は通信電波が吸収されるおそれがあるため避ける。</p>

選択する場合は右空欄に○印を付ける。

B 問題-3（警備関連）

解答例

問1. 警備業法第2条では、「警備業とは、他人の需要に応じて、以下の警備業務のいずれかを行う営業をいう。」としており、警備業務を四つの種類に区分している。④の例にならって解答欄の空欄を埋めよ。

【解答欄】

①	1号警備	施設警備、機械警備を含む	事務所、住宅、興行場、駐車場、遊園地等(以下「警備業務対象施設」という。)における盗難等の事故の発生を警戒し、防止する業務
②	2号警備	交通誘導警備 雜踏警備	人若しくは車両の雑踏する場所又はこれらの通行に危険のある場所における負傷等の事故の発生を警戒し、防止する業務
③	3号警備	輸送警備	運搬中の現金、貴金属、美術品等に係る盗難等の事故の発生を警戒し、防止する業務
④	4号警備	身辺警備	人の身体に対する危害の発生を、その身辺において警戒し、防止する業務

問2. 警備業法で規定している「機械警備業務の定義」について、自分の言葉でわかりやすく説明せよ。

【解答欄】

警備対象物件の建物に警備用機械装置を設置して、侵入者等の異常信号を離れた場所にある警備会社の管制センター(若しくはガードセンター等)へ電話回線やインターネット回線を使って送信し、警備会社では受信した際は速やかに現地確認の対応をする。
このような異常を検知する検知器や警報制御盤と送信・受信する機器を使った、警備業法第2条第一項第一号の施設警備をいう。

問3. 機械警備業について、各都道府県公安委員会規則による機械警備業者の「即応体制の整備の基準」の内容を分かりやすく説明せよ。

【解答欄】

東京都の場合、都内23区の特別区内は、警報を受信した後、25分以内に現地に到着すること。
特別区を除いた区域では30分以内に現地に到着すること。となっている。
ただし、へき地等にある建物で別途公安委員会が認めた警備業務対象施設に係るものを除く。

選択する場合は右空欄に
○印を付ける。

B 問題-4 (設計関連)

解答例

防犯カメラが設置される場所は、明るい場所、暗い場所、外光が強く当たる場所、屋外で広範囲の監視が必要な場所などさまざままで、これらの設置条件に合わせた機能・性能を有したカメラを選ぶことが必要である。また、カメラは単に映像を撮影してレコーダーなどへ出力するだけではなく、カメラ本体内部で撮影した映像の解析などを行う機能を有するものが増えてきた。以下の機能について説明せよ。

【解答欄】

	機能	説明
①	ワイドダイナミック (ダイナミックレンジ拡大)機能	逆光補正の機能の一つで、明るい部分を高速シャッターで、暗い部分を低速シャッターで別々に撮影し、それらを合成することによって適切な映像で撮影となる機能をいう。
②	モーションディテクト機能	撮影範囲の一部に検出範囲を設定し、人の動きなど映像の変化があったときに検出する機能である。
③	プライバシーマスキング機能	プライバシー保護の観点から、画面中の撮影してはいけない部分を塗りつぶすなどして意図的に見えなくする機能である。
④	ターゲット追尾機能	PTZ 一体型カメラ(コンビネーションカメラ)で侵入者を検知し、侵入者の移動方向を判断し、移動に追従してターゲット(侵入者)が常にモニターの中心付近になるように追尾する機能である。